

学校教育目標	「自分が輝き、みんなで輝く上川井の子」 ○自らの課題に向かって主体的に粘り強く取り組む子を育てます。(知) ○善悪を判断し、思いやりをもって、共に生きる子を育てます。(徳) ○心も体も健康で、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○上川井をふるさとと思い、人や自然と関わろうとする子を育てます。(公) ○横浜や上川井の伝統や文化について自ら学び、社会の変化に対応できる子を育てます。(開)				
	創立 55 周年	学校長 山崎 真紀子	副校長 荒海 透	2 学期制	一般学級：6 個別支援学級：2
学校概要	児童生徒数： 125 人 主な関係校： 川井小学校、都岡小学校、都岡中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	都岡中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
＜自分づくりに関する力＞	都岡中学校 都岡小学校 川井小学校	自主性を身に付け、互いの良さを認め合う心豊かな子 ・基礎学力の定着を図ることを目的として、4校合同の授業参観や教科ごとの9年間を見通したカリキュラムの確認を行います。 ・生徒交流日を2回行います。

中期取組目標	<p>○子ども一人一人を大切に、学ぶことが楽しいと思える教育活動を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目は、ユニバーサルな学習環境を整え、個に応じた支援を継続します。 ・3年間を通して学びの過程を可視化し、できるようになったことや自分の学びを自覚できるようにし、子どもたちの「知りたい」「やりたい」「伝えたい」という思いを引き出す主体的な学びの実現を図ります。 ○人との関わりの中で意欲を引き出します。 ・3年間を通して、相手の顔が思い浮かぶ関係の中で互いの良さを認め、自分らしさを見い出せるようにしていきます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 読解力・ 学力向上	①「上小ホームワーク」と「上小チャレンジカップ」を継続し、学習の習慣化と学習意欲の向上を図る。②単元づくりの工夫と学び合いの充実を図り、児童が「知りたい・やりたい・伝えたい」と思える学習を展開していく。③読書タイムの充実を図ると共に、言語能力を高めるための継続的な取り組みを行う。
徳 豊かな心	①児童が主体となって計画する活動を積極的に取り入れ、自主性を高める。②豊かな人間関係の構築に向け、年間を見通した異学年交流を計画する。③日常生活と結びつけ、振り返りを大切にされた道徳の授業改善に取り組む。
体 健康・安全教育	①学校保健委員会のテーマに沿って、「体力づくり」について学び、健康な心と体について意識の向上を図る。②(感染症予防を適宜図りながら)全校児童で縄跳びや持久走、に取り組み、健康・体力の向上を図る。③児童自らが考え動き、危機管理意識を高められるような避難訓練を実施する。
公 開 地域連携・学校運営協議会	①学区探検や地域行事への参加などの活動を通して、地域の存在を意識し歴史や魅力などへの気付きから地域理解を深める。②学校だよりやHpなどを通じて情報発信を行い、現状を伝えることで理解を深めてもらう。③「地域・学校防災の日」を利用し、保護者や児童の防災意識を高める。
いじめへの対応	①小規模校のよさを生かし、全教職員が子どもに関わり、情報共有、児童理解に努める。②定期的な「いじめ防止対策委員会」の開催や児童への生活アンケート、面談を通し、いじめの未然防止、早期発見に繋げる。③チーム対応を原則とし、ケース会議を適宜設け、課題解決する。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①児童と向き合う時間や授業準備の時間を確保するために職員室アシスタントやICTを活用し、効率的・効果的な業務を推進する。②三部会では充実した検討と構成員の確保のため、合同部会を開催するなど、柔軟な運営を図る。
特別支援教育	①特別支援教室の利用条件を明確化し、児童や保護者の思いを汲みながら個に応じた支援内容の検討と特別支援教室の効果的な運営を図る。②朝学習を中心に学年の実態に応じてコグトレを取り入れ、楽しみながら認知機能の向上を図る。③単級のよさを生かし、学習方法や教室環境のユニバーサル化を図る。
人権教育	①子ども同士の交流を通して、違いや多様な考えを認め合い、安心して自分を表現できる授業環境をつくる。②年間を通して計画的にYPIに取り組み、自尊感情を高めるようにする。③道徳での学習や振り返り、人権週間の取り組みなどを生かし、日常における人権意識を高めるようにする。
児童指導	①全職員で児童の様子や問題行動を共有し、対応を統一することで組織的に児童指導にあたる。②定期的にスタンダードの確認、見直しを行い、職員が同じ意識で児童の規範意識を高めていく。③道徳科での学習、日常での指導を通し、「自分から進んで」「表情を見て」挨拶することのよさを理解し、実践できるようにしていく。
担当	b10
担当	